

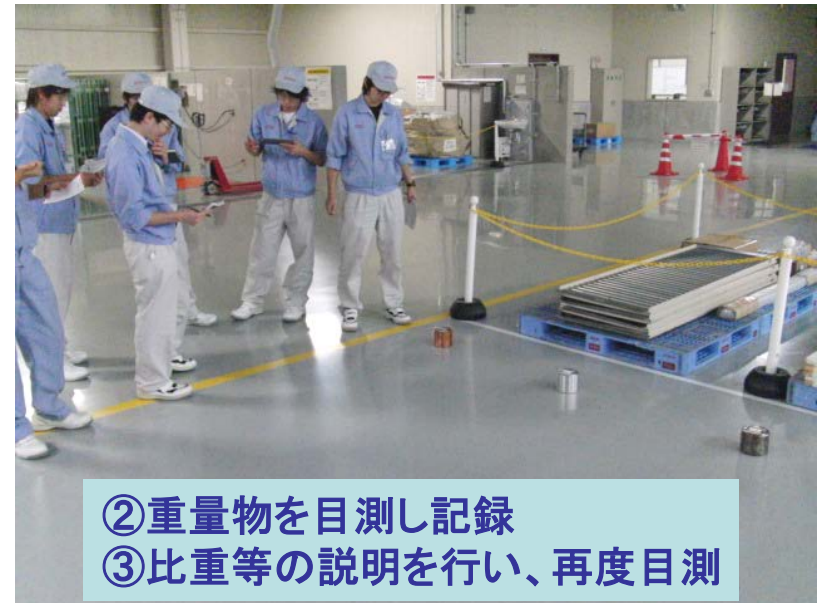
重量物目測訓練実施

(保全担当部署 総勢25人)

1/2



①参加者全員に説明



②重量物を目測し記録
③比重等の説明を行い、再度目測



④実際に持ち上げ(触らせて)目測
(実感・体感を覚えさせる)



⑤合格ラインに到達するまで繰り返し目測
(合格ライン; +10% -0%)

重量物手扱い作業教育訓練（目測品）



分銅



電線



油圧ジャッキ



スキャナー



プラ箱(中身?)



増圧弁

【所感】重量目測は、質量、形状(内部が不明)などが違うため難しく、**軽めに見る傾向**があった(特に初めて経験した参加者)が、実際に物に触れて重量を感じ全員合格ラインに到達した。

生の声 ・いかに自分の目測と実際の重量が違っているかを痛感した。

・日頃、重量を意識していないので、実際に持ち上げても、何kgと解からない。

重量物取扱い訓練は継続的に実施して、**重量感覚を体で覚える**ことが必要。